

## 放射性セシウムの追加的放出量 (Bq/h)

平成 29 年 9 月 5 日  
福島県原子力安全対策課

東京電力では、1～4号機原子炉建屋からの現時点の放出量（セシウム）を、原子炉建屋上部等の空気中放射性物質濃度（ダスト濃度）を基に評価しています。

測定は、放射性物質が舞い上がるような作業が行われていない状況及び大物搬入口も閉塞された状態で行われています。

7月に実施された評価は下表のとおりであり、1～4号機の放出量の合計は、 $1.6 \times 10^4$  Bq/h 未満であり、前月と同様に放出管理の目標値 ( $1.0 \times 10^7$  Bq/h) を下回っていることを確認しました。なお、これによる敷地境界における被ばく線量は年間 0.00021 mSv 未満と評価しています。

### (1) 平成 29 年 7 月の状況

原子炉建屋	ダスト採取場所	セシウム 134 (Bq/cm <sup>3</sup> )	セシウム 137 (Bq/cm <sup>3</sup> )	追加的放出量の 評価値 (Bq/h)	備考
1号機	原子炉直上部北西側	$6.5 \times 10^{-7}$	$4.2 \times 10^{-6}$	$1.7 \times 10^3$ 未満	前月は $1.5 \times 10^4$ Bq/h 未満
	格納容器ガス 管理システム出口	ND (検出限界 $1.4 \times 10^{-6}$ )	ND (検出限界 $1.0 \times 10^{-6}$ )		
2号機	ブローアウトパネル 排気設備入口	ND (検出限界 $1.0 \times 10^{-7}$ )	$7.1 \times 10^{-7}$	$1.2 \times 10^4$ 未満	前月は $3.5 \times 10^4$ Bq/h 未満
	格納容器ガス 管理システム出口	ND (検出限界 $9.5 \times 10^{-7}$ )	ND (検出限界 $9.8 \times 10^{-7}$ )		
3号機	原子炉直上部南西	$1.1 \times 10^{-6}$	$8.1 \times 10^{-6}$	$5.1 \times 10^2$ 未満	前月は $2.0 \times 10^3$ Bq/h 未満
	格納容器ガス 管理システム出口	ND (検出限界 $1.1 \times 10^{-6}$ )	ND (検出限界 $1.0 \times 10^{-6}$ )		
4号機	燃料取出し用 カバー隙間上部	ND (検出限界 $1.3 \times 10^{-7}$ )	ND (検出限界 $9.6 \times 10^{-8}$ )	$2.6 \times 10^3$ 未満	前月は $1.5 \times 10^3$ Bq/h 未満
計				$1.6 \times 10^4$ 未満	前月は $5.4 \times 10^4$ Bq/h 未満

(問い合わせ先 024-521-7255)